令和４年度
学校だより
ＮＯ．３
Ｒ４．６．２４

中道南小だより
南っ子
かしこく　なかよく　げんきよく

甲府市立
中道南小学校
（児童数６８名）
編集：校長　小林　和仁

修学旅行「仲間と共に楽しい時間と学びを」

５月25日から27日まで、６年生は２泊３日の修学旅行に行ってきました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が心配されましたが、時期やコースの変更もなく、事前に体調を崩すことなく１４人全員で予定通りに行うことができました。

１日目：日銀貨幣博物館・明治神宮・国立科学博物館
　　国会議事堂・東京タワー・メルパルク東京(泊)
２日目：ＪＦＥスチール・カップヌードルミュージアム
　　日本新聞博物館・ホテル相洋閣(泊)
３日目：鎌倉散策（建長寺～鶴岡八幡宮）
　　新江ノ島水族館

１日目、出発式が終わるとバスに乗り込み、都心へ向かいました。まずは、東京駅近く、日本銀行本店の隣、日銀貨幣博物館の見学です。貨幣文化の歴史や、大判や小判などの貨幣の製造の様子、金（きん）の価値など、多くのことを学ぶことができました。貨幣文化の発祥には、甲斐の戦国武将、武田信玄も深く関わっていることも紹介されました。続いて明治神宮、初詣には、日本一多い参拝客が訪れる神社です。敷地は73ヘクタールと大変広く、全国から献木された神宮の杜は圧巻でした。子どもたちが丁寧にお詣りを済ませると、都内の和風レストランで昼食のカツカレーを食べてから上野の国立科学博物館に向かいました。修学旅行の定番ともいえるこの博物館は、大きくて広い館内の中で、テーマごとに自然科学の多くを学ぶことができます。最初の班行動の中、協力しながら楽しく学んでいました。次は日本政治の中心、国会議事堂です。ここでは、なんと実際の衆議院本会議を見学することができました。国会議員の代表質問と、岸田首相の答弁を目の当たりにして、子どもたちはとても喜んでいました。これまで何度も引率してきた私自身も初めての体験でした。その後、宿泊するメルパルク東京で夕食をとり、徒歩で東京タワーに向かいました。子どもたちは東京タワーから見る夜景に感動していました。ホテルは、オートロック式のツイン部屋、早速のハプニングもありましたが、ホテルマナーを守りながら楽しい夜を過ごしました。

２日目は、京浜地区にあるＪＦＥスチールの見学からスタートです。この製鉄所は広大な人工島の上に建設されていて、案内係（社員）の方のユーモアあふれる説明を聞きながら、バスで移動しながら見学しました。途中でバスを降り、厚板の製造場の見学をしました。ここでは鋳造された大きな板状の鋼片（スラブ）をオレンジ色に輝くまで熱し、大きなたくさんのロールがある圧延機で延ばし、最大幅５．３メートルまでの厚い鋼板を作ります。離れたところから見学をしましたが、そのスラブの熱が体全体に伝わってきました。日本が誇る広大な製鉄所は、何もかもスケールが大きく、子どもたちは驚きと感動の連続でした。次に横浜の山下公園近くで昼食をとり、予定にはなかった山下公園の散策をしました。氷川丸をはじめ、横浜の景色を楽しみました。そしてカップヌードルミュージアム、自由にイラストや文字でデザインしたカップに、好きな具材を組み合わせてオリジナルのカップヌードルを作りました。自分だけの楽しいおみやげになりました。最後の見学は日本新聞博物館です。ここでは、新聞の長い歴史を学び、日本全国の新聞も見ることができました。「山梨日々新聞」は、創刊されたのが全国的にも早い地方紙であることもわかりました。

見学を終え、宿泊先である葉山の相洋閣に向かいました。夕食までの空いた時間は、近くの砂浜に行き、裸足になって波打ち際で遊んだり貝殻を拾ったりして楽しいひとときを過ごしました。海岸沿いにある２日目のホテルは３～４人の和式の部屋でお風呂も大浴場、感染対策をとりながらですが、やはり少しでも多い人数で過ごす方が楽しいようです。２日目の夜は疲れもあったのか、どの部屋もぐっすりと就寝できたようです。

３日目の最終日は待ちに待った鎌倉散策ですが、外はあいにくの雨となりました。はじめに鎌倉五山の一つ、建長寺に向かいました。そこで、雨が止むことを願いながら、いよいよ班別による鎌倉散策をスタートをしました。どの班も計画した目的地へ向かいましたが、次第に雨や風が強くなってきたので、班によっては途中でコースを変更し、早めに小町通りへ入りました。そこで昼食をとり、ショッピングを楽しみました。予定通りには行きませんでしたが、それもまた思い出として残るはずです。集合場所の鶴岡八幡宮に着く頃には雨も上がり、晴れ間が見え始め、そこからは一転、暑いくらいの快晴になりました。大銀杏（現在は子銀杏）を横目に階段を上がり、本宮でお詣りをして、バスで江ノ島に向かいました。修学旅行最後の見学は、新江ノ島水族館です。はじめに大人気のイルカショーを見ました。最前列に座った子どもたちは、イルカのジャンプによる水しぶきでびしょびしょになっていました。ショーが終わると、班ごとに館内の見学をしました。幻想的なクラゲファンタジーホールをはじめ、めずらしい魚や水生生物を鑑賞することができました。おみやげの買い物を済ませると、江ノ島との別れを惜しみながら帰路につきました。

修学旅行の見学先は、保護者の皆様が小学生だったころと比べてほとんど変わっていません。本校の昔の記録写真を見てみると、同じように鎌倉や東京での記念写真を見ることができます。その頃と違うところは、グループでの行動が多くなったことかもしれません。子どもたちに「生きる力」をつけさせるためには、子どもたちが自分で考え、判断し、行動できる活動が必要です。鎌倉散策以外でも、班で活動する場面はありました。旅行中のどの活動でも、前日の反省を次へ生かそうとする姿があり、この３日間で大きく成長したと思います。みんなで決めた修学旅行のテーマ「仲間と共に楽しい時間と学びを」が達成できたと思います。これからも、学校の代表として、最高学年として、自信をもって取り組んでほしいと思います。さらに大きな成長を願っています。

１年生の仲間入り ～１年生を迎える会～

６月10日に１年生を迎える会を行いました。本来は４月に行う予定でしたが、コロナ感染症の影響で全校児童が集まることができず、延期されていました。当日は会議室を会場として、各教室とオンラインで結んで行いました。

１年生は会議室に入場して、そこで参加しました。一人一人の自己紹介では、自分の名前や好きなことを、恥ずかしながらもしっかり発表していました。各学年からは、気持ちのこもったメッセージが贈られ、１年生は満面の笑みを見せていました。モニター越しでしたが、全校児童のあたたかい気持ちがしっかり通じ合う素晴らしい会になりました。企画や進行を務めてくれた児童会執行部のみなさんありがとうございました。

学校だよりは、南小ＨＰにカラー版でアップしております。
ぜひご覧ください。 中道南小 検索 もしくは QRコードで

熱中症予防対策

６月に入り、気温30℃を超える暑い日もみられるようになりました。暑さに慣れないこの時期は、熱中症に十分注意をしなければなりません。学校では、毎日、養護教諭が熱中症チェッカーを使って玄関前や校庭で暑さ指数を測定し、休み時間や外の活動の可否の目安としています。熱中症の原因は、気温だけでなく、湿度、輻射熱、風速、本人の体調など、多くの要因によって起こります。

学校では、マスクの着脱も含めて随時指導をしていますが、ご家庭でも、子どもが規則正しい生活ができているか、体調が悪くないかなど、コロナだけでなく、熱中症予防対策としての健康観察のご協力をお願いいたします。